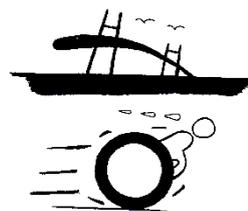


<第54号>

横浜市パラスポーツ指導者協議会 機関誌

2025年1月発行

BASEL



- 発行責任者:横浜市パラスポーツ指導者協議会
- 編集責任者:広報担当理事
- 連絡先:〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内
Fax:045-475-2053 <https://basel-y.sakura.ne.jp>



会長挨拶

横浜市パラスポーツ指導者協議会
会長 岩澤 英喜

明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。
今年には東京 2025 デフリンピックが開催される年であります。
また、戦後 80 年、阪神淡路大震災から 30 年目でもあり、いろいろな節目の年であります。
社会情勢は混とんとして、障害者を取り巻く環境も多様化していますが、100 周年を迎えるデフリンピックが日本で開催される意味は大きいと言わざるを得ません。
デフスポーツもパラスポーツも目指すところのひとつに“共生社会の実現”があります。
会員のみなさまもデフリンピックに関心を寄せていただき、積極的にかかわっていただくことでパラスポーツへの相乗効果を生みだしていただければと祈念いたします。
感染症が流行するなか、会員のみなさまにおかれましては健やかにお過ごしください。

第 23 回全国障害者スポーツ大会

横浜市パラスポーツ指導者協議会
会員 平山 和幸



SAGA 2024 国 スポ
全障 スポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



第 23 回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」が 2024 年 10 月 26 日から 28 日にかけて全国から選手 3,640 名、役員 2,000 名が集い佐賀県で開催されました。

横浜市選手団は、ハマピックで選考された個人競技選手 49 名(陸上競技、水泳競技、卓球、サウンドテーブルテニス、ボウリング、フライングディスク、ボッチャ)、関東ブロック予選会で優勝した車いすバスケットボール選手 11 名、バレーボール(精神)選手 12 名の総勢 72 名、役員 39 名、合計 111 名で参加しました。

7 月から 10 月に行なった強化練習の成果により、大会新記録 11 を含む金メダル 43 個/銀メダル 24 個/銅メダル 6 個、合計 73 個のメダルを獲得しています。

また、参加都道府県・政令市 67 チームでメダル獲得率は第 1 位、金メダル獲得率は第 2 位の好成績を収めました。(横浜市選手団独自集計による)

今大会から大会開催の表彰基準が変更され「する」「みる」「ささえる」のスポーツ精神に則り、陸上競技における視覚障害者の伴走者およびボッチャにおけるランプオペレーターについても、選手と同様にメダルが授与されることになりました。

私が帯同した陸上競技では、5 泊 6 日の遠征期間中、シングルルームでのホテル生活、普段とは異なる食事メニュー、規律を求められる団体行動などで不安や緊張を抱える全国大会初参加や 10 代の選手がいましたが、監督・コーチによるサポート、また、選手同士での助け合いを通じて選手全員がメダルを獲得することができました。

また、最終日は競技が終了した他競技の選手・役員が一丸となった応援が繰り広げられ、横浜市選手団のチームワークの良さを感じました。

選手たちは、大会終了後も横浜ラポールで練習を継続するなど、競技に対する意識が高まりとても嬉しく感じています。

なお、来年の第 24 回全国障害者スポーツ大会(滋賀県)の選手選考になるハマピック個人競技大会は 2025 年 2 月に申込みが始まり、4 月に開催されます。

研修コーナー

研修会報告

研修担当 高橋 登

研修テーマ:「待ってろ甲子園～特別支援学校が単独チームで甲子園に挑戦～」

開催日時:2024年11月10日(日)10:00～12:00

今回の研修は特別支援学校などでソフトボールの指導や公式野球チームのコーチ・助監督を長年務められた久保田浩司教諭の講演でした。参加者は29名でした。

33年間の指導の経験から障害者だけが参加する大会にばかりでなく、積極的に健常者が参加する大会に挑戦していくべきだと話されました。如何に障害者がスポーツに親しみ、競技として参加するにはと様々な試行錯誤をされ、知的障害の程度や理解力を把握しながらルールや技術をできるだけ解りやすくそして根気よく続けることが一番成長に繋がり、また、障害の程度に合わせて特別ルールを考案し障害者も健常者も一緒に楽しみながら参加することが大切と感じたそうです。大変参考になる内容で「諦めないこと」、「目標を持つ」、「達成感を感じる」この言葉がとても印象に残りました。



今回、時間ギリギリまでお話いただき、質疑応答の時間がとれませんでしたので、アンケートでいただいた参加者からの質問に、講師から回答をいただきました。

○硬式野球への保護者の反対はなかったのか？

「保護者の反対はまったくありませんでした。加盟前の東京都高野連の視察では、保護者が高野連幹部に加盟を懇願してくれました。」

○3年間で入れ代わる学校の部活で強さを維持することは大変だと思います。最初のころは出来なかった連覇ができるようになったのは、何が大きいのでしょうか？

「一番大きいことは練習をしっかりとしたことだと思います。ソフトボール指導時は毎日の放課後や休日に練習や練習試合を重ねました。練習をすることで、部員はできなかつたことができるようになり、スキルの向上とともに次への意欲に繋がったと思います。そのような部員が増えることでチーム力も向上していきました。研修の中でも話しましたが、ソフトボールのウインドミル投法を教える時は段階的指導法を導入し、スモールステップで部員の指導に当たったことも大きかったと思います。ソフトボールも野球もそうですが、ピッチャーがしっかりしているとチーム力は格段に向上していきます。大会連覇の際は常によりピッチャーが育ってくれました。」

○毎年、卒業・入学で部員が入れ替わるのに、チームとしての実力を向上させている点に対して、そのノウハウを知りたいです。

前述の答えに補足すると、養護学校(特別支援学校)のソフトボール大会優勝よりも、一般社会人チームからの勝利という、さらに高い目標設定をしたことが、部員のスキル向上とチーム力向上にとても大きかったと思います。ソフトボールや野球に限らず、目指すべき目標を明確に示し、取り組むことはとても大切だと思います。」

○知的障害者の団体チーム競技種目(特に、攻守ルールの理解や瞬時のチームプレー戦術判断が複雑な野球競技)における指導上の諸課題とその解決策の要点に、もう少し触れていただきたかった。

「今の青島特別支援学校ベースボール部員12名(3年生も含む)のうち中学校までの野球経験者は2名です。高等部上がるまでほとんど野球に触れたことがない部員たちには、常に目で見て分かりやすい指導を心がけています。実際の技術指導では、教員が部員の目の前で見本を見せて、それを真似してもらう。ゲーム形式の練習

では、ボールカウントやアウトカウント、ランナーを置くなどの状況設定をした練習を繰り返しています。特に、打球に対するランナーの判断(ゴロは走る、ライナーは戻る、フライは打球を見てから判断など)は何回も何回も繰り返しています。学校の練習でやり、練習試合の場で試す。その繰り返いで、だいぶ状況判断ができる部員は増えてきましたが、まだ理解できない生徒もいるので、練習を継続していくしかないと思っています。」

会員の活動・体験コーナー

【8月3日(土)・4(日)YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ 2024 @海の公園】

会員 梅本 知成

8月3日・4日にYOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ2024が海の公園にて開催され、インクルーシブスポーツの推進に係る取組として設けられたポッチャ体験ブースに参加をしました。

屋外に設置したポッチャコートに、フェスタに来場した親子が何組も訪れてくれました。

ポッチャの面白さを実際に体験してもらいながら、どの参加者からも笑顔がたくさん見られました。最初は「かんたん!」と言いながらも、やってみると「意外とムズイ…」との感想を持った仲良し子どもたち。



学校で知ったルールをお父さんに説明しながらゲームに挑戦した女の子は、お父さんが何気にきっちり勝負してきて、微笑ましくも勝負事の厳しさを学んだでしょうか…。

保育園児の姉弟は、「白(ジャックボール)をねらって!」お父さんお母さんのかけ声に「それっ!」うまく行ってハイタッチ!それぞれ炎天下に負けず、楽しくポッチャの体験をする姿が見られました。

【9月14日(土)ハマピック「バスケットボール競技」@横浜ラポール】

会員 徳山 茉奈

今年は男子2チームのエントリーで1試合(決勝)の実施となりました。参加チームは、AST(アシスト)、YOKOHAMA MAJORS(ヨコハマメイジャーズ)です。MAJORSは2019年ぶりのハマピック参加でした。結果は84-54でASTの勝利。来年5月開催の関東ブロック地区予選会の横浜市代表として、全国障害者スポーツ大会関東代表を目指して臨みます。



【9月22日(日)ラポールの祭典 @横浜ラポール】

会員 清水 美幸



今年度からバセルに登録し、ラポールの祭典で初めて活動に参加しました。

バスケットボールの受付担当をしたのですが、立位での体験もあるのに、車いすバスケットボールを体験したいといらっしゃる方が多かったです。車いす競技を体験できる機会は少ないと思うので、とても良い機会だと思いました。一般も参加できるこのようなイベントがあることを地元なの

に今まで全く知らなかったことを残念に思いました。今までは、都内での活動が多かったのですが、今後は横浜での活動も増やしていければと思っています。

【10月2日(水)・3日(木)横浜市立中学校個別支援級合同運動会 @三ツ沢競技場】

会員 松本 幸代

横浜市内の中学生が集結しての体育祭。私はゴールハガーなどを担当しました。

前夜に「ハガー」をスマホ検索するほど無知でしたので物凄く不安でしたが、本番で「先輩 BASEL の皆さんをよく見て真似すればいいんだ！」と気づき、実践していると自然と笑顔まで伝染しつつ無事、誘導できました。

初日の猛暑、2日目の降雨にも生徒の安全ファーストで迅速な対応、中止の決断をされていた行事委員の先生方には多くを学びましたし、生徒さんや担任の先生方からも生涯最多記録というくらい「ありがとう」の言葉をいただきました。生まれて初めてのボランティアがこのイベントでよかったです。



【10月2日(水)・3日(木)・4日(金)ヨコハマ・バリアフリービーチ 2024 @海の公園】

会員 緑川 絵梨 ・ 田川 豪太



2024年10月2日～4日にかけて、海の公園(金沢区)で「ヨコハマ・バリアフリービーチ 2024～車いすユーザーも海で遊びたい!～」が開催されました。このイベントは、普段車いすを使用している方でも、自身の障がいや砂浜での走行を気にせずに海を体感してもらおう取り組みです。イベントでは、砂浜の柔らかい土壌を車いすで走行しても沈まない「モビマット」と呼ばれるシートを波打ち際まで配置し、大きなテント下には海水プールやブルーシートを用意して、海へ入ったり歩行したりすることが出来ない方でもビーチを五感で楽しめる工夫をしました。



さらに水陸両用車いすである「モビチェア」も多くの方にご利用いただき、スタッフのサポートのもと、実際に海に入り「非日常」を味わうことが出来たのではないかと感じます。たくさんの方と交流しましたが、お子さんと車いすユーザーのお母さんが、ふと、「とても楽しいです。(子どもにとっては)人生で一度かもしれないので。」と、話していたのが大変印象に残っています。



「非日常」と前述したように、海水浴をしたければ出来る私とは異なり、車いすユーザーの人にとってビーチは移動に大きな負担がかかります。その一言を聞いてこのイベントの意義を改めて感じると同時に、私にとっての当たり前が



彼らにとってはそうではないことを実感させられました。このイベントを通して、参加者の皆さんには新しい選択肢が広がり、私たちも新しい視点から物事を見ることができるようになるなど、実り多い3日間となりました。最後に、開催に協力してくださった海の公園の皆さま本当にありがとうございました!

以下は、ヨコハマ・バリアフリービーチ 2024 に参加された方々のご感想です。

○ご家族から

「普段、家族だけでは砂浜や海などに行けないので、とても嬉しかった」

「気温が低いようで、海には入れなかったが、海水をさわったり、貝やヒトデにさわったりすることが出来て良かった」

「自分の車椅子で、そのままキャタピラの上に乗って、砂浜を散策出来たので嬉しかった」

「スタッフの方たちが、シャボン玉で出迎えてくれたのが嬉しかった」

「海岸と言う環境下で、職員・ボランティアスタッフ・他の利用者・ご家族の方々と交流が出来て、とても楽しい時間だった」

「海には入れなかったが、水陸両用車いすで波打ち際を走れたのが、とても嬉しかった」

「こどもの喜んでいる楽しそうな様子が見られて、参加して本当に良かった」

○参加施設職員のコメント

「利用者さんが皆笑顔で、楽しんでいたのが安心した」

「海と言う素晴らしい場所で、担当させてもらっているご家族と交流が出来て良かった」

「水陸両用車で、実際に海に入られた方も、波打ち際を楽しまれた方も、利用者さんは皆笑顔でとても楽しそうだった」

「とにかく事故なく終えられたのが良かった。ラポールの皆様、横浜市パラスポーツ指導者協議会の皆様、海の公園管理事務所の皆様に感謝しかありません」



【10月19日(土)インクルーシブスポーツフェスタ @三ツ沢公園陸上競技場】

会員 久岡 雄一

当日は、快晴で、良い気候の中参加出来ました。ポッチャ、スラローム、車いすバスケットの体験コーナーを担当させていただきました。参加された方は、小学生とその親御さん達がほとんどでした。車いすにふれたことのない人達が多く皆さんが、興味を持って体験されていました。

皆さんがとても楽しそうに体験しているのを見て、自分自身もとても楽しい時間をすごせました。

また、手の空いている時に他の体験コーナーを見ることもできていい体験

をさせていただきました。そして、一緒に参加して頂いたバセルの皆さんと他のボランティアの皆さんと交流できたことがいい思い出になりました。ありがとうございました。



【10月20日(日)横浜市身体障害者運動会 @横浜ラポール】

会員 下蘭 幸



本日、身体障害者運動会に初めて参加させていただきました。午後開催の短い時間ではありましたが「車椅子競争」から競技が始まり「池ポチャクレーンゲーム」、「紅白大玉転がし」等、5 種目の競技があり、選手の皆さんだけでなく、どの種目にも家族の方やスタッフそして来賓の方々、チアリーダーの子供たちを含め幅広い年齢層の来場者も勝敗に関係なく、一生懸命そして楽しく競技されて笑顔にあふれているのがとても印象的でした。また、皆さん自然と声を出して応援したり拍手をしたりしてお互いを讃えたりする姿が微笑ましくもあり感動的で時間を忘れるほど有意義な運動会でした。

最後は会場内全員で「ウルトラクイズ」に参加して終わりを迎えました。半日とはいえ充実した貴重な時間を過ごすことが出来て、参加させていただいたことに感謝致します。

【11月24日(日)横浜パラスポーツフェスティバル「フライングディスク」@横浜ラポール】

会員 森 芳則

この日は快晴で 11 月下旬の小春日和で良い天候でした。私は初めてディスク競技を知りました。私の担当は記録担当でした。輪の中に何回は入ったかを記録します。

皆さん上手く、凄いと思います。わたしは準備の時ディスクを投げさせて頂きましたが、まず真っ直ぐに飛びませんし、輪の中には 1・2 回しか通りませんでした。

記録会を終了した後にディスクを何処まで飛ぶかを 3 回投げて、最長を記録する競技を行いました。小学生生でも 20 メートル飛びます。これも準備前に投げてみましたが、10 メートル程でした。投げ方を教えて頂きましたが、そんなに早く遠くには飛ばせません。その中でも全スポでメダルを取られた方々は、30 メートル以上でグラウンドの一番奥から投げて芝生を超え 50 メートル以上でした。さすが金銀銅メダルを取る努力をされた方々は違います。思わず感動して拍手しました。

【12月15日(日)横浜パラスポーツフェスティバル「卓球」@横浜ラポール】

会員 牧村 佳代子



午前中は卓球検定やワンポイントアドバイス、午後は交流戦が行われ、延べ 80 名の選手が集まりました。参加者は初めての方や久しぶりの方、ご家族や観覧者など多様で、年齢や障害の種別を越えた交流の場となりました。

担当の練習台では、横浜市卓球協会コーチから「皆の上手くなりたい気持ちが伝わるから」と言っていたき、選手一人ひとりに合ったメニューを編み出しながら伝えていく丁寧なご指導に見入ってしまいました。

選手達も徐々に目が輝き、できるが増える度に私も思わず拍手しながらボール拾いをするほど感動しました。交流戦では歓声が上がリ、選手や職員さん、観覧者同士の会話も弾み、新たな繋がりが生まれる場面が印象的でした。

スポーツを通じた交流の力を感じ、「また参加したい」と思える貴重な体験となりました。

【その他の活動・体験】

7月27日(土) STT 体験会(横浜武道館)

10月20日(日) パラトラ紹介ブース運営(戸塚スポーツセンター)

10月20日(日) パラ陸上タイムトライアル大会(三ツ沢公園陸上競技場)

11月2日(土) ビューティ&ウエルネス専門職大学祭ポッチャブース運営

11月5日(火) 元石川小学校(ポッチャ)

11月9日(土) 星槎中学・高校イベント(ポッチャ)

11月10日(日) 西区民祭り

11月13日(水) 西富岡小学校(ポッチャ)

11月17日(日) タンデム自転車体験協力(こどもの国)

11月26日(火) 奈良小学校(ポッチャ)

11月30日(土) ヨコアリくんまつり(車いすレーサー体験)

11月30日(土) オリパラフェスティバル(車いすバスケット体験)

12月1日(日) 上大岡商店街イベント

12月1日(日) ペアダンス体験サポート

12月9日(月) 東市ケ尾小学校(ポッチャ)

12月12日(木) 奈良小学校(ポッチャ)

など多数



お知らせコーナー

【 総会・前期研修会のご案内 】

2025年6月29日(日)横浜ラポール大会議室において、総会を開催します。

また、同日、大会議室で研修会も行いますので、併せてご出席ください。

詳細は、後日改めてお知らせします。



【 ポロシャツ・スタッフジャンパー頒布販売 】

バセル活動時にご着用いただく、ポロシャツ・スタッフジャンパーの頒布販売を行います。同封の申込用紙に記入の上お申し込み下さい。

【 役員改選のお知らせ 】

今年の定時総会で現役員の任期 2 年が経過します。本協議会選出規定により次期役員候補を公募します。詳細は同封の要項をご覧ください。

*その他、同封資料:ラポール年間スポーツイベント募集

Check 【 メールアドレス登録の件 】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報などをメールで配信しています。情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力し返信してください。

※既に登録済の方は、登録の必要はございません。

Mail touroku@basel-y.sakura.ne.jp



【 会員数 2025年1月10日現在 559名 】